科名　　外科　　外科ー65（a）

対象疾患名　　治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌

プロトコール名　　Pmab+FOLFIRI

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	・・・
1	CVﾎﾟｰﾄ	メイン2-①	生理食塩水	250mL	ベクティビックス終了後1時間まで残ハキ可	↓		
2	CVﾎﾟｰﾄ	側管①	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	↓		
			デキサート注	6.6～19.8mg				
			又は					
3	CVﾎﾟｰﾄ	側管①	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて	↓		
			デキサート注	6.6～19.8mg				
4	CVﾎﾟｰﾄ	側管②	ベクティビックス	**6mg/Kg**	60分以上かけて要フィルター	↓		
			生理食塩液	100mL				
ルートキープにて1時間休薬								
5	CVﾎﾟｰﾄ	メイン2-②	レボホリナート注	200mg／m^2	2時間かけて	↓		
			生理食塩液	250mL				
6	CVﾎﾟｰﾄ	側管	カンプト注	150 or 180mg／m^2	2時間かけて	↓		
			生理食塩液	250mL				
7	CVﾎﾟｰﾄ	側管	5-FU注	400mg／m^2	5～10分以内で	↓		
			生理食塩液	50mL				
8	CVﾎﾟｰﾄ	メイン	5-FU注	2400mg／m^2	46時間持続静注	→		
			生理食塩液	mL※	バクスターインフューザーSV2.5			

★1クール＝14日　　※生理食塩液の量は5－FUの量により決定する。

～MEMO～

催吐レベル4（90%以上）

DLT：皮膚障害、下痢

【注1】ベクティビックス使用にあたってはKRAS遺伝子の野生型を確認する検査を実施すること。

【注2】 ベクティビックスは生食で希釈。

【注3】 ベクティビックス投与時は投与前後に生食でフラッシュし、
インラインフィルター（0.2または0.22ミクロン）を使用すること

【注4】ベクティビックス終了後、1時間ルートキープにて休薬する。
2回目以降に重度のinfusion reactionを発現することもある。

【注5】8　は持続注入用のポンプを使用して46時間で投与する。

【注6】ベクティビックス投与開始前に皮膚科依頼をし、皮膚障害のコントロールについて連携を図ること。

14